



平成26年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年7月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ネットプライスドットコム

コード番号 3328 URL <http://www.netprice.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼グループCEO (氏名) 佐藤 輝英

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼グループCFO (氏名) 中村 浩二

TEL 03-5739-3350

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	9,147	17.2	283		255		267	
25年9月期第3四半期	7,802	1.1	84		184		84	

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 277百万円 (%) 25年9月期第3四半期 310百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	22.63	
25年9月期第3四半期	7.55	7.55

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第3四半期	7,797	4,647	58.1	373.02
25年9月期	6,435	4,112	62.5	360.37

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 4,529百万円 25年9月期 4,025百万円

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期		0.00		0.00	0.00
26年9月期		0.00			
26年9月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 26年9月期の配当予想額につきましては、未定であります。

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,347	19.8	413		395		457		38.68
	~ 12,547	~ 21.7	~ 283		~ 255		~ 327		~ 27.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 1. 当社グループを取り巻く事業環境の変化が早く、また当社が展開する事業が多岐にわたっているため、四半期ごとに行っている業績発表に併せて翌四半期の業績見通しを公表いたします。

なお、実際の業績が、公表された業績予想の範囲に対し大きく異なる可能性があります、その場合には、速やかに業績予想の修正を公表することといたします。

2. 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想における1株当たり四半期純利益につきましては、株式分割を考慮した額を記載しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期3Q	12,266,600 株	25年9月期	11,306,600 株
期末自己株式数	26年9月期3Q	123,500 株	25年9月期	135,700 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期3Q	11,837,895 株	25年9月期3Q	11,159,541 株

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、今期の戦略テーマとして「グローアウト（脱皮）戦略」を掲げ、バリューサイクル部門とクロスボーダー部門の各市場における圧倒的No. 1の地位の確立、リテール・ライセンス部門における、スマートフォンに特化したサービス構築とエンタメ事業の拡大による収益化の実現、インキュベーション事業におけるスマートフォンにフォーカスした新規事業開発と、北米や新興国を中心とした投資育成活動（BEENOS活動）の本格化、を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,147,804千円（前年同期比17.2%増）、営業損失は283,209千円（前年同期は営業損失84,745千円）、経常損失は255,068千円（前年同期は経常利益184,439千円）、四半期純損失は267,896千円（前年同期は四半期純利益84,296千円）となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

当社グループは、今期より事業構造の変化と各事業の成長に合わせて事業セグメントを変更しております。報告セグメントの変更についての詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」に記載のとおりであります。

Ｅコマース事業

バリューサイクル部門におきましては、高単価商品の買取訴求による取扱商品単価の引き上げ施策やTVコマーシャル等広告宣伝の更なる強化、提携先との関係強化等により買取額は順調に推移し、本第3四半期においても、過去最高の買取額を計上しました。販売面でも、出品業務のクラウドソーシングの活用やオペレーションの見直しによる効率化を進め過去最高の売上高を計上しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,347,860千円（前年同期比36.1%増）、営業利益は58,622千円（前年同期比54.1%減）となりました。

リテール・ライセンス部門の「商品プロデュース・ライセンス事業」におきましては、販売先との共同商品開発を積極的に進め、また、アーティスト関連公式グッズの商品企画及びE Cサイト・イベント会場での販売も積極的に進め、売上及び利益ともに増加しました。

「ネットショッピング事業」におきましては、商品構成の見直しによる粗利率の改善や提携先の拡大に努める一方で、スマートフォン集中戦略への移行を図っておりますが、その移行過程の伸び悩みにより赤字となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,357,796千円（前年同期比10.4%減）、営業損失は75,072千円（前年同期は営業損失12,466千円）となりました。

クロスボーダー部門の「海外転送・代理購入事業」におきましては、転送事業、代理購入事業ともに会員数が増加しており、物流機能の拡充やサービス改善に努め、売上・利益とも堅調に推移しております。

「グローバルショッピング事業」におきましては、欧州にて先行開始した留め置きサービスの米国への全面展開による利便性の向上、取り扱い商品数の増加等により、売上が徐々に復調傾向にあります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,286,318千円（前年同期比51.4%増）、営業利益は33,404千円（前年同期比66.0%減）となりました。

Eコマース事業全体では、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,991,975千円（前年同期比15.4%増）、営業利益は16,954千円（前年同期比92.1%減）となりました。

インキュベーション事業

スマートフォンアプリの「知育コンテンツ配信事業」においては、ダウンロード数が50万を突破し、本年3月に世界156の国と地域に配信を開始した童謡や童話の英語版は、台湾・香港・インド等で子供向けジャンルのダウンロード数で1位を獲得しましたが、未だ収益化には至っておりません。

また、「投資育成事業」においては、北米地域における最先端のインターネットビジネスの発掘やサービス・テクノロジーに関する最新情報の収集、新興国におけるインターネット関連産業への投資・育成活動を積極的に進め、グローバルなインキュベーション事業を拡大しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は157,962千円（前年同期は売上高14,119千円）、営業損失は160,490千円（前年同期は営業損失102,281千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

() 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,361,540千円増加し、7,797,253千円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が6,685,530千円となり、前連結会計年度末と比べ2,391,223千円の増加となりました。その主な要因は、営業投資有価証券1,156,984千円、現金及び預金657,220千円、商品490,640千円の増加であります。

また、固定資産合計は、1,111,723千円となり、前連結会計年度末と比べ1,029,682千円の減少となりました。その主な要因は、投資有価証券892,173千円、関係会社株式20,170千円の減少であります。

第1四半期連結会計期間より、投資育成目的の有価証券について固定資産から流動資産へと計上区分の変更を行ったことに伴い、固定資産の投資有価証券から流動資産の営業投資有価証券へと振替えております。詳細は「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (4) 追加情報」に記載のとおりであります。

() 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は3,150,016千円となり、前連結会計年度末と比べ826,684千円の増加となりました。

内訳といたしましては、流動負債合計が3,021,801千円となり、前連結会計年度と比べ905,434千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としては、短期借入金771,124千円、支払手形及び買掛金27,893千円の増加であり、減少要因としては、未払法人税等61,271千円の減少であります。

また、固定負債合計は、128,214千円となり、前連結会計年度と比べ78,750千円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金50,000千円、繰延税金負債28,081千円の減少であります。

() 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は4,647,237千円となり、前連結会計年度末と比べ534,856千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としては、資本金394,560千円、資本剰余金387,025千円、為替換算調整勘定19,335千円の増加であり、減少要因としては、利益剰余金267,896千円の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境の変化が早く、また当社が展開する事業が多岐にわたっているため、四半期ごとに行っている業績発表に併せて翌四半期の業績見通しを公表いたします。なお、実際の業績が、公表された業績予想の範囲に対し大きく異なる可能性があります。その場合には、速やかに業績予想の修正を公表することといたします。

なお、平成26年9月期の通期連結業績予想に関しましては、バリューサイクル部門とクロスボーダー部門の更なる伸張を鑑みつつも、リテール・ライセンス部門の「ネットショッピング事業」並びにインキュベーション事業の「知育コンテンツ配信事業」の損失を保守的に見込み、売上高は12,347百万円～12,547百万円、営業損失は413百万円～283百万円、経常損失は395百万円～255百万円、当期純損失は457百万円～327百万円を予想しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(営業投資有価証券について)

当社は、第1四半期連結会計期間より、投資育成事業を中核事業として取り組んでいくことを決定いたしました。これに伴い、従来、四半期連結貸借対照表上、流動資産の「有価証券」及び固定資産の「投資有価証券」に計上していた投資育成目的の有価証券を流動資産の「営業投資有価証券」に計上し、また、四半期連結損益計算書上、営業外損益に計上していた当該有価証券に係る損益を「売上高」及び「売上原価」に計上する方法を採用しております。これに伴い、当連結会計年度の期首において、前連結会計年度末の「有価証券」76,129千円及び「投資有価証券」860,977千円を「営業投資有価証券」に組替えております。また、このうち、当第3四半期連結累計期間に売却されたものは、11,759千円であり、この結果、四半期連結損益計算書の売上高が132,202千円、売上原価が14,297千円、営業利益が117,905千円それぞれ増加しております。なお、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響はありません。

(投資損失引当金について)

市場性のない有価証券に対する損失に備えるため、健全性の観点から、財政状態を勘案して実質価額の低下に相当する額について投資損失引当金を計上し、資産から直接控除しております。

当第3四半期連結累計期間に発生した投資損失引当金繰入額2,537千円は、「売上原価」に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,552,771	3,209,992
受取手形及び売掛金	495,701	541,652
有価証券	76,129	-
営業投資有価証券	-	1,156,984
商品	497,788	988,428
コンテンツ資産	6,341	11,760
繰延税金資産	18,705	3,577
その他	647,960	773,708
貸倒引当金	1,090	573
流動資産合計	4,294,307	6,685,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	216,007	216,007
減価償却累計額	145,828	160,323
建物及び構築物(純額)	70,179	55,683
工具、器具及び備品	304,111	310,358
減価償却累計額	271,061	285,121
工具、器具及び備品(純額)	33,049	25,236
有形固定資産合計	103,229	80,920
無形固定資産		
のれん	183,245	147,190
その他	248,691	200,453
無形固定資産合計	431,937	347,643
投資その他の資産		
投資有価証券	1,162,481	270,307
関係会社株式	20,170	-
繰延税金資産	28,742	24,189
その他	394,844	388,661
投資その他の資産合計	1,606,239	683,158
固定資産合計	2,141,405	1,111,723
資産合計	6,435,713	7,797,253

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	366,242	394,135
短期借入金	803,556	1,574,680
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払法人税等	113,275	52,003
賞与引当金	-	8,626
ポイント引当金	17,735	12,973
その他	755,557	919,382
流動負債合計	2,116,366	3,021,801
固定負債		
長期借入金	90,000	40,000
繰延税金負債	37,114	9,033
資産除去債務	78,254	78,854
その他	1,596	327
固定負債合計	206,964	128,214
負債合計	2,323,331	3,150,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331,417	2,725,977
資本剰余金	2,110,492	2,497,517
利益剰余金	432,088	699,985
自己株式	193,417	176,028
株主資本合計	3,816,402	4,347,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,162	25,767
為替換算調整勘定	137,055	156,390
その他の包括利益累計額合計	209,217	182,157
新株予約権	30,315	26,688
少数株主持分	56,445	90,910
純資産合計	4,112,381	4,647,237
負債純資産合計	6,435,713	7,797,253

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	7,802,411	9,147,804
売上原価	4,137,454	4,757,727
売上総利益	3,664,957	4,390,076
販売費及び一般管理費	3,749,702	4,673,285
営業損失()	84,745	283,209
営業外収益		
受取利息	1,479	210
受取配当金	-	15,455
持分法による投資利益	-	2,272
投資有価証券売却益	313,842	-
投資事業組合運用益	4,431	16,136
その他	14,502	7,739
営業外収益合計	334,255	41,815
営業外費用		
支払利息	7,652	10,719
為替差損	30,597	160
投資有価証券評価損	6,578	-
持分法による投資損失	18,676	-
株式交付費	-	710
その他	1,565	2,085
営業外費用合計	65,071	13,674
経常利益又は経常損失()	184,439	255,068
特別利益		
関係会社株式売却益	8,276	181,224
ポイント引当金戻入額	-	3,360
新株予約権戻入益	7,417	-
特別利益合計	15,694	184,585
特別損失		
減損損失	-	73,774
特別損失合計	-	73,774
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	200,133	144,257
法人税、住民税及び事業税	102,851	87,213
法人税等調整額	4,797	18,843
法人税等合計	98,053	106,057
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	102,080	250,314
少数株主利益	17,783	17,582
四半期純利益又は四半期純損失()	84,296	267,896

四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	102,080	250,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,181	46,394
為替換算調整勘定	145,808	19,335
持分法適用会社に対する持分相当額	840	-
その他の包括利益合計	208,830	27,059
四半期包括利益	310,910	277,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,127	294,955
少数株主に係る四半期包括利益	17,783	17,582

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年12月25日付で、株式会社デジタルガレージから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第1四半期連結会計期間において資本金が394,560千円、資本剰余金が394,560千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,725,977千円、資本剰余金が2,497,517千円となりました。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	クロス ボーダー 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,193,963	3,746,426	849,409	7,789,799	12,611	7,802,411	-	7,802,411
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	1,507	1,507	1,507	-
計	3,193,963	3,746,426	849,409	7,789,799	14,119	7,803,919	1,507	7,802,411
セグメント利益 又は損失()	127,645	12,466	98,313	213,492	102,281	111,210	195,956	84,745

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 195,956千円には、セグメント間取引の消去6,703千円、各報告セグメントに配分していない全社収益184,992千円及び全社費用 387,652千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	クロス ボーダー 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,347,860	3,357,712	1,286,318	8,991,891	155,912	9,147,804	-	9,147,804
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	83	-	83	2,050	2,133	2,133	-
計	4,347,860	3,357,796	1,286,318	8,991,975	157,962	9,149,937	2,133	9,147,804
セグメント利益 又は損失()	58,622	75,072	33,404	16,954	160,490	143,536	139,673	283,209

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 139,673千円には、セグメント間取引の消去4,861千円、各報告セグメントに配分していない全社収益189,084千円及び全社費用 333,619千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、第1四半期連結会計期間より事業構造の変化と各事業の成長に合わせて事業セグメントを変更しております。変更内容は以下の通りです。

「ギャザリング部門」を「リテール・ライセンス部門」に変更

主な販売方式をギャザリングという売り方からワンピースでの販売方式にシフトしたこと、商品プロデュース・ライセンス事業の拡大により、新規事業の集合体である「インキュベーション事業」から分離させ、従来の「ギャザリング部門」と統合し、セグメント名称を「リテール・ライセンス部門」に変更いたしました。

「クロスボーダー部門」に「転送サービス・代理購入事業」を追加

転送サービス・代理購入事業の拡大により、新規事業の集合体である「インキュベーション事業」から分離させ、「クロスボーダー部門」に区分いたしました。

「インキュベーション事業」に「投資育成事業」を追加

投資育成事業を本格化することに伴い、グループの主要事業として注力してまいります。それに伴い、セグメント情報においては「インキュベーション事業」に区分いたしました。

この区分方法の変更は前第3四半期連結累計期間のセグメント情報に反映しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「Eコマース事業」セグメントのリテール・ライセンス部門であるネットショッピング事業において保有する固定資産について、今後スマートフォンへの取り組みに集中する戦略であることに加え、直近の業績推移を勘案し、既存のシステムが中心となる固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額すべきであると判断し、減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は73,744千円であります。